

# 鹿児島市地区バレーボールスポーツ少年団

## 競技運営についての共通理解事項

令和8年度

☆各種大会等の競技を運営していく上で、各チームの選手、指導者、育成会で共通理解したい事項です。  
御理解と御協力をよろしくお願いします。

- 1 全大会・全予選・レクリエーションにおいて会場設営等は、チーム毎の当番制とする。  
当番になったチームは、選手と指導者・育成会で、割り当てられたコートを担当をもって設営する。  
(当番のチームは、事前お知らせに記載しますので、必ず御確認ください。)
- 2 公式練習は、各チーム最初の1試合目のみとする。試合間は10分間とし、連続する場合や状況に応じては本部の判断による。(できる限り試合開始時刻等をアナウンスする。)
- 3 全パートにおいて、試合は1セット21点のジュースありで3セットマッチとする。  
ただし、3セット目は、15点のジュースありとする。また、リンクトーナメント方式で実施する。
- 4 混合パートは、コート内が必ず男女共出場していなければならない。(令和7年度より人数規定を撤廃)  
なお、試合中のけが等でどうしてもコート内が混合にならない場合はこの限りでない。  
構成メンバー表は男子選手の背番号の左側にレ点を付けて提出すること。なお、記録については、記録用紙サービス順の左側にレ点を付ける。  
男子パートは、コート内に女子が2名まで出場できる。男子パートの場合は構成メンバー表、記録用紙とも、女子選手の背番号の左側にレ点を付けることとする。
- 5 シードについては前回大会の成績を優先とし、シードチームが出場しない場合は、累積されたシードポイントをもとにシードチームを決定する。交流・新人大会はシードチームを設けない。  
ポイントは、優勝…10、準優勝…8、第3位(2チーム)…6とする。  
(第3シードについては、準決勝で優勝チームに敗れたチームとする。また、ポイントが同じになった場合は、前回大会の順位を優先する。)
- 6 予選リンクの順位は、  
勝率→セット率→得点率→直接対決していた場合は勝利チーム→総得点の多いチーム  
→総失点の少ないチームの順で判断し、決定する。  
尚、得点率 = (総得点) ÷ (総失点) で算出し、値の大きい方が良い。
- 7 昼食時間は原則として設ける。ただし、試合進行状況に余裕がない場合は、この限りではない。
- 8 年間を通じて、1・2セット目はどちらかのチームが11点、3セット目はどちらかのチームが8点先  
取した時点でセーフティタイムアウトを設ける。その際は、ベンチスタッフは選手の健康観察を行い、  
不調が疑われる選手には直ちに対応する。(給水の準備は必須であるが、給水を行うか否かの判断は選手本人の意思による。)

9 ベンチ内での服装をしっかりとする。

(別紙資料「鹿児島市バレーボールスポーツ少年団連絡協議会服装規定」参照)

監督、コーチ、マネージャは、必ずバッジを着用し、統一する。また、Tシャツやベンチコート等は禁止とする。ハーフパンツは、夏季の熱中症対策の一環として認める場合もある。

冬季の大会において、選手のユニフォームの下の長袖アンダーシャツ・レギンス・スパッツの着用を認める。(色は紺・黒系統の単色とし、着用をチーム内で統一しなくてもよい)

冬季の大会での審判服について、防寒のため、白トレーナーの上にジャンパーの着用を認める場合もある。ただし腰のあたりまでの長さの物とし、ベンチコート類は不可とする。

服装の特例を認める大会については、事前にホームページで連絡する。

10 大会中に起きた事故やけがについては、本部では一切責任を負わない。各団で対応すること。

11 試合をしていないコートの使用については、隣接するコートが試合中の場合は、ボールを使用する練習等は禁止とする。ただし、次にそのコートで試合をするチームの試合前練習は除く。なお、ボールを使用しないウォーミングアップ等は可とする。(ネットを張っていない空きコートも同様とする。)

12 体育館使用規則を守り、ごみ等は必ず持ち帰ること。また、忘れ物がないように各団で必ず確認すること。喫煙は決められた場所で行うこと。なお、学校が会場になる際は敷地内禁煙のため厳守すること。

13 同一大会において、1団体2チーム出場することを認める。(異なるパート、同パート、いずれも可)開催日時が異なる場合は、監督が同一人物でも構わないものとする。

複数チーム出場する場合は、選手の二重登録がないように注意すること。発覚した場合は失格とする。

14 弁当等注文されて引き取りまで業者にしてもらう場合は、帰る前に必ず引き取りに来たかを各団で責任をもって確認すること。

15 応援の際、鳴り物(太鼓、大きなメガホンなど大音量を発する物)は使用禁止とする。但し、応援グッズとして、竹は認める。ペットボトルにビーズ等を入れたものやメガホンをつぶしたものの使用は認めない。また、最前列では必ず座って応援すること。乳幼児を抱っこやおんぶしている場合は、最前列では行わないこと。(転落事故防止)

16 構成メンバー表は、日小連が推奨している、市連絡協議会ホームページに掲載の様式(同様の内容であれば可)を使用すること。県大会につながる市予選では、14名用を使用すること。市連絡協議会主催の大会も県に準じて選手は14名まで登録可能とするが、12名以下の登録の場合は12名用の使用で構わない。14名まで選手登録する場合は、13・14番については、ユニフォームが揃わない場合には、Tシャツにゼッケン等で番号を入れる又は違うユニフォームにビブスを着て番号を変えるなどでのベンチ入りを認める。

☆ 指導者・育成会の御協力をよろしくお願ひします。

主役である子ども達のために・・・!